未来予想図（みらいよそうず）

寝屋川市立梅が丘小学校　　２０２３・８・３０

校長室通信　　No. １８

親の意見となすびの花は
千にひとつも無駄（むだ）はない
（ことわざ）

「親の意見となすびの花は　千にひとつも無駄はない」ということわざがあります。

「なすの花は、咲いたら必ず実がついて、実にならない花はない。親が子どもを思って言う意見は、すべて大事なことばかりで、無駄なことは何ひとつない」という意味のことわざです。

みんなは、このことわざについて、どう思いますか？

おうちの人に、「人には親切にしなさい。」「きちんと、あいさつをしなさい。」「宿題はもう終わったの？」「ゲームばかりしないで、勉強しなさい。」「ユーチューブばかり見ていないで、早く寝なさい。」などと言われたときに、「うるさいなあ」と思ったり、文句を言ってしまったりしたことはありませんか。

この言葉の「親」というのは、おうちの方はもちろんのこと、みんなを育ててくれている人たちすべての人たちのことを言っているようにも思います。

おうちの方や親せきの方、地域の方、学校の先生・・・、それ以外にも、たくさんの人たちが、みんなの健やかな成長を願っています。だからこそ、みんなにいろいろと言うことがあるかもしれません。でも、それは、みんなのことを大切に思っているからなのです。

たとえ、口やかましいことであったとしても、「うるさいなあ」「ほっといてほしい」などと思わずに、素直にきく耳と受け入れる心を、ぜひ、持ってほしいと思っています。

親の意見となすびの花は　千にひとつも無駄はない・・・、ぜひ、この言葉をおぼえておいてくださいね。

3年生と6年生が「CAP」の授業を受けました!!

８月29日（火）に３年生と６年生が、「CAP（子どもへの暴力防止）」の授業を受けました。「CAP」とは、子どもたちが様々な暴力から自分を守るためのプログラムとして、アメリカで開発されたものです。

寝屋川市では、子どもたちが、自分を守るために何をなすべきかを学ぶことが大切であるという考えのもと、全小学校で毎年、３年生と６年生を対象に、ＮＰＯ法人「女性と子どものエンパワメント関西」の方々に授業を行っていただいています。

「友だちから悪いことに誘われたとき」や、「知らない人から声をかけられたとき」にどうすべきか・・・などについて、これからもしっかり考えていってほしいと思います。

講師として6名の方々に来ていただき、3名ずつに分かれ、2教室で、同時に授業をしていただきました。

3年生は、3･4時間目に、6年生は、5･6時間目に、それぞれ授業を受けました。人間には、一人ひとりに、「安心」･「自信」･「自由」の3つの権利があることを学習しました。

友だちからいやなことを言われたり、知らない人から声をかけられたりしたときの対応方法について、「劇」も行っていただきました。何人かの人たちも、劇に参加してくれましたね。なかなか上手でしたよ！！